

Vol.167

2026年5月・6月

中経協ニュース

ACTIVE ASSOCIATION
LINK

人が 企業が 情報がLINKする

筑後
中経協
宣言

いきいき「人の輪」を創造し、広げよう
いきいき「ビジネスの輪」を創造し、育てよう
いきいき「情報の輪」を創造し、伸ばそう

例
れ
ら
な
ら
ば
前
向
き
に

contents

会員インタビュー

**働く人のマインドを変え、
働きがいのある職場をつくります。**

ウェルビクリエイト(株) 代表取締役 保健師 橋口 麻友子 氏

- つながる。大交流会開催！
- 中堅・幹部社員研修
- 文化街さくら祭リスプリングフェスティバル 2026 に参加
- リレーコラム 褒められたら「ありがとう」と言える自分に俺はなる！
アースクリーン 代表 富松 寛治
- 新会員名簿

インタビュー撮影：印象派



LINK発行所
一般社団法人 筑後中小企業経営者協会

〒830-0035 久留米市東和町6-9 フジホーム久留米ビル
TEL0942(38)1061 FAX0942(30)4802
URL/https://chukeikyo-c.com/ E-mail/info@chukeikyo-c.com



3月6日に開催いたしました「つながる。大交流会」は、多くの皆様にご参加いただき、盛会のうちに無事終わることができました。心より御礼申し上げます。

当日は会場全体に活気があふれ、初対面同士でも自然と会話が生まれ、新たなつながりが次々と広がっていく様子が印象的でした。普段なかなか接点のない業種や世代を超えた交流が実現し、本会の目的である「つながり」を強く実感するひとときとなりました。

また、各所で笑顔や笑い声が絶えず、終始和やかな雰囲気の中で進行できたことは、ひとえにご参加いただいた皆様のお力添えの賜物でございます。運営に携わってくださった関係者の皆様にも、改めて感謝申し上げます。本交流会を通じて生まれたご縁が、今後のビジネスや地域活動において実りあるものへと発展していくことを心より願っております。参加者同士のつながりがさらに深まり、新たな挑戦や協働へとつながる契機となれば幸いです。

今後も皆様にとって価値ある出会いの場を提供できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(社員親睦委員会 委員長 石橋 朋和)



春は出会いの季節！

つながる。大交流会 開催!

- /Human Resource
- /Legal
- /Accounting
- /Finance
- /Marketing
- /Publicity
- /Promotion
- /Research
- /Business
- /Development
- /Engineering
- /Manufacturing
- /Planning

◆3月6日(金) 18:30~20:45

◆会場:ホテルマリターレ創世





働く人のマインドを変え、働きがいのある職場をつくります。



ウェルビクリエイト(株)

代表取締役 保健師 橋口 麻友子氏

佐賀県神埼郡吉野ヶ里立野1220-7

mail:info@wellbcreate.com

URL:wellbcreate.com



■会社概要

設 立 2023年1月11日

業 種 経営コンサルティング

健康経営実践サポート

職場環境は変化する。かつては職場でも喫煙があたりまえであり、成人男性の喫煙率は80%を超えていた。

喫煙がストレスを解消するという間違った考え方のように、正しくないストレスの解決策、見つからない対処法で悩む職場は多い。ウェルビクリエイトの橋口氏は看護師から保健師となった、人の心もケアするメンタルヘルスのプロ。

離職率の高さは企業の成長を妨げる要因であり、いわば疾病の状態。ウェルビクリエイトでは、そこにメスを入れてストレスの原因を特定し、経営者や管理者とともにオーダーメイドの施策を行っている。社員が安心して働ける環境こそが、企業の未来を支えるのである。

——まず事業内容について、詳しく教えていただけますか。

橋口 私たちは、企業が「健康経営」を実践するためのサポートを主軸としています。健康経営とは、社員一人ひとりの健康度が上がれば、それに比例して生産性も向上し、最終的に会社の売上や価値につながっていくというものです。

私の役割は、「会社の保健室の先生」ですね。学校に保健室の先生がいるように、会社の中にいる保健師のことを「産業保健師」と呼びます。具体的な業務としては、社員の方々の健康診断の結果を確認して保健指導を行ったり、メンタルチェックの実施とその後のフォローアップをしたりすることが基本です。

しかし単に個人の数値を追うだけではありません。社員の方々の健康には「組織の状態」が大きく関わってきます。だからこそ、組織そのものを整えていくことも、私の大切な仕事のひとつです。

——企業からは、どのようなきっかけで相談が来ることが多いのでしょうか。

橋口 具体的な「困りごと」が起きてからご相談をいただくことがほとんどです。「メンタル不調で休職してしまった社員がいるけれど、どう対応したらいいか」「復職させたいけれど、再発させないためにはどうすればいいか」といった切実な声が最初のきっかけとなります。

でも、一人の不調を「その人だけの問題」として片付けることはできません。一人が休めば、周囲のメンバーには確実に負荷がかかり、影響が及びます。そのため私は、当事者だけでなく、周りのスタッフへのフォローアップも行います。また、休職の原

因が本人の資質だけでなく、職場内の人間関係や業務負荷といった「会社側の要因」にある可能性もあります。その場合は、経営者と対話を重ねながら、管理職研修などを通じて組織作りの土台から見直すお手伝いをしていきます。

——「産業医」という存在もありますが、保健師との違いはどこにあるのでしょうか。

橋口 社員数50名以上の会社には産業医の設置が義務付けられています。病院で例えるなら、医師と看護師のような関係性だと分かりやすいかもしれません。産業医は「判断する人」です。その社員が仕事に耐えられる心身の状態にあるかを「診断」するのが主な役割です。一方で、適切な診断を下すためには、詳細な現場の情報が必要です。社員の方々が職場でどのような様子で、どんな業務を、どんな環境で行っているのか。こうした現場の情報を丁寧に吸い上げ、専門的な視点で集約して産業医に繋ぐのが保健師の役割です。

——「社外の専門家」である橋口さんが介入することのメリットは何だとお考えですか。

橋口 最大のメリットは、私が会社と利害関係のない「第三者」であるという点です。社員の方々からすれば、社内の上司や人事担当者には、評価への影響を恐れて話せないことが多々あります。私は保健師として守秘義務を負っていますから、個人面談の内容は基本的に秘密です。これがあるからこそ、社員の方々は本音を打ち明けることができるのです。緊急性が高い場合は会社と連携しますが、基本的には「第三者的立場」という安心感が、深いカウンセリングを可能にしていると考えています。

経営者にとっても、第三者の存在は大きな助けになります。例えば、社長が直接言うのが角が立つような言葉も、私が「社外の専門家」として、社員の立場に寄り添う第三者から代弁することで、社員の心に届くことがあります。経営者の想いを現場が受け取れる形に翻訳する「緩衝材」や「翻訳者」としての役割も、私の重要なミッションだと感じています。

——今のキャリアに至るまでの歩みを教えてください。

橋口 福岡市で、お茶や茶道具を扱う実家の長女として生まれました。大学は久留米大学医学部の看護学科へ進み、卒業後は久留米大学病院の産婦人科や消化器外科で数年間勤務しました。転機となったのは、消化器外科での経験です。そこには多くの糖尿病患者さんがいらっしゃいましたが、治療の現場は「悪くなったら切る、悪くなったら薬を出す」という、事務的な対症療法が中心でした。医療としては正しいのですが、私は「生活習慣を少し変えるだけで防げたはずの病気が、なぜここまで悪化してからでないか」という点に、強い違和感を抱きました。「根本的な予防をしたい」という思いが、私を保健師の道へと向かわせました。



——そこからすぐに起業されたのですか。

橋口 まずは大企業に入って産業保健の経験を積みました。そこで何百人もの社員との面談を繰り返す中で、新たな気づきがありました。やる気に満ちた新入社員もいれば、冷めた態度で「仕事ですから」と割り切る人もいます。この「意欲の差」はどこから来るのか、という疑問です。

保健師の本来の役割は、マイナスをゼロに戻す「守り」の仕事です。しかしその先の「プラスのエネルギーを引き出す支援」がしたいと思うようになりました。そこで、キャリアコンサルタントの資格を取得しました。



資格取得後、実務経験を積もうと転職先を探していた際、縁があったのが「女子刑務所」での受刑者に対する就労支援でした。出所後に仕事に就くための支援や、就労経験の乏しい方に働くことの意味を伝える仕事です。ここでの7～8年の経験は、今の私の人間観に大きな影響を与えています。

その後「中小企業で働く人たちの役に立ちたい」という原点に立ち返り、2023年に起業へと踏み切りました。当初、経営者の集まりでこの構想を話した時は、「お金を生まない人にお金

を出す会社はない」と厳しく言われたこともありましたが、今では多くの経営者から必要と思っただけになりました。

——具体的な支援プランへの組み立ては？

橋口 企業の課題に合わせて完全にカスタマイズします。例えばパワハラが問題になっている会社なら、単なる「パワハラ研修」は行いません。なぜなら、知識だけでは根本解決にならないからです。代わりに、「自分はこの会社で、どんな存在になりたいか」を深く掘り下げるワークショップを、1年スパンのプランで実施します。さらに、新入社員向けには「働くとは何か」を考える研修、中堅層には「強みの発見」や「感情コントロール」の研修など、その時々組織の状態に合わせて中身を変えていきます。研修をやりっぱなしにせず、その後の個別面談で目標の進捗を振り返り、「社外のトレーナー」のように伴走します。

最近では、社長がぼんやりと考えている「大切にしたい価値観」を言語化し、社員の「成長マップ」として形にするお手伝いもしています。こうした目に見えない組織のルールや哲学を整えることが、結果として離職を防ぎ、定着率を高めることに繋がります。

——休日はどのように過ごされていますか。

橋口 実家がお茶屋ということもあり、日本文化が大好きです。現在は日本舞踊、書道、そして茶道(表千家)を嗜んでいます。若い頃は実家のことで反発心があり、茶道には全く触れていませんでした。始めたのは30代になってからですが、やってみると茶道は単なる作法ではなく、非常に奥深い「精神論」であり「哲学」であることに気づきました。どういう心持ちでお客さんをもてなすか、という精神性は、私の今の仕事にも深く通じています。今では、スポーツのコーチやメンタルトレーナーの方々から茶道を教えることもあります。パフォーマンスを出すためには「精神を整える場所」が必要だと感じているようです。私にとっても、こうした時間はかけがえのないものになっています。

——最後に、今後のビジョンと大切にしている言葉を教えてください。

橋口 現在は一人で活動していますが、今後は、私と同じように「健康管理(ディフェンス)」と「組織作り(オフense)」の両面から企業を支えられる仲間を増やしていきたいと考えています。健康をベースに置きながら、社員の方々の意欲をプラスに転じさせる。この両方が揃ってこそ、本当の意味で強い組織が作れるのだと確信しています。

私の好きな言葉は、「倒れるなら前向きに」です。



メンタリングでチーム力向上

◆3月12日(木) 13:30~17:00 ◆会場:くるめりあ六ツ門

3月12日(木)、くるめりあ六ツ門のみんくる会議室にて中堅・幹部社員研修を行い、会員企業18社31名の皆様に参加いただきました。

筑後中経協会員でもあられる(株)J.エレメント代表取締役の池田智子様に講義をいただき、テーマを「メンタリングでチーム力向上」としてメンター制度の基本的な仕組みから目的をわかりやすく解説いただき、メンタリングのスキルアップを図るための実践演習を行っていただきました。受講された皆様からは自己ですぐに実践できる内容で今後の社内コミュニケーションにとっても役立つという声を全員からいただき、意識変革や向上につながる大変良い学びの機会となりました。企業の発展と地域産業の繁栄につなげるため、企業の要である中堅・幹部社員皆様のさらなる成長と活躍を祈念いたします。

(未来リーダー育成委員会 委員長 中井 鉄併)



文化街さくら祭りスプリングフェスティバル2026に参加

視察研修委員会

街中を元気に！

◆3月25日(水) 17:00~20:30 ◆会場:久留米シティプラザ 六角堂広場

令和8年3月25日、筑後中経協のメンバーで文化街さくら祭りスプリングフェスティバル2026に参加してきました。

例年は桜が咲き乱れる三本松公園での開催でしたが、雨に見舞われる事が多く、今年は屋根のある六角堂広場での開催。結果当日はまさに雨模様。古賀委員長の雨女ぶりに皆が驚愕!しかし雨の影響を受けない会場は人で溢れ大盛況に。中経協からは41名が参加し、地元の知り合いや子どもたちも多く集まり、くずほぐれつの大賑わいとなりました。地元飲食店の焼き物や飲料に舌鼓を打ちながらほろ酔い気分の中、中経協メンバーはゲームにも挑戦!失敗や敗北を恐れず、チーム一丸となって楽しみました。

この日、中経協メンバーは「街中を元気に!」というさくら祭りの理念を、久留米の中心でしっかりとアピールする事ができました。(視察研修委員会 委員長 原 哲也)





褒められたら「ありがとう」と言える自分に俺はなる!

アースクリーン
代表 富松 寛治



私は「信じるな、疑うな、確かめろ」そんな言葉を大切にしています。

人の言葉や情報をそのまま受け取るのではなく、その情報を自分なりに解釈し確認しながら前に進む。その行動が自分の軸となり今の自分を創り続けています。

他人を変えることはできないけど自分を変えられる。自問自答し他人の良いと思えるところは少しずつ取り入れてきた。ものごとを柔軟に受け止め、歩み寄り、折り合いをつけながら、少しずつ自分らしさと向き合うことで成長しているという実感があります。

これまでの失敗や挫折はそこから学ぶことのほうが多く「諦めるな! 考える!」をやり続けることで進む方向みたいなものが見えてきました。

失敗をしても自分を責めるのではなく、労い、褒めて、許すことも大切だと思います。



そして何よりも仲間の存在が大きい。経営者団体などの様々な活動の中で交わした何気ない一言が後になって心に響くこともある。意見は違っても語り合っただけで本音が伝わる瞬間はかけがえのない楽しい時間です。

周りの成長に刺激を受けて成長できる自分がある。その変化を教えてくれる仲間がいて、互いに気持ちで「ありがとう」を言えるようになったことがより良い関係となり、信頼に繋がったと実感しています。



新会員

- 石井 貴史 氏
福岡市博多区上呉服町10-10 呉服町ビジネスセンター6F
保険業 保険を使った各種対策(例:資金繰り改善、自社株承継、内部留保作りなど)
TEL.092-283-0072 推薦者:(株)シマブン、ヴォイス
- (有)寿クレーン 専務取締役 入部 圭右 氏
八女市緒玉40-1 建設業(クレーン作業、運搬トラック、重量物据付)
TEL.0943-23-2891 推薦者:(株)エフジー、(株)いちょうの杜
- 日本ミドリ企画(株) 代表取締役 中島 恭佑 氏
福岡県八女市高塚33-1 建設業(外構、造成工事)
TEL.0943-22-9539 推薦者:(株)エフジー、(株)いちょうの杜
- (株)ワードセキュリティ 代表取締役 平井 準 氏
久留米市梅満町412番地8 警備業、建設業(一部)
TEL.0942-64-9858 推薦者:(株)オカジマ商事、平井直人
- YORO(株) 代表取締役 高田 朋宙 氏
久留米市梅満町744-2
小売業(リユース事業(古物商、買取販売))
TEL.0120-176-575
推薦者:(有)いきいきリハビリケア、亀屋硝子(株)
- エイキング 代表 橋本 栄輝 氏
久留米市日吉町13-37第7泉屋ビル4F 飲食業(スナック)
TEL.0942-37-0139
推薦者:(有)いきいきリハビリケア、(株)アルゴ